

こども審議会からの評価・意見と市の考え方

第2期豊中市子育て・子育て支援行動計画「こどもすこやか育みプラン・とよなか」令和5年度（2023年度）事業実施状況に対するこども審議会からの評価・意見と市の考え方は以下のとおりです。

Ⅳ. 重点施策の実施状況

【重点施策1 ひろめよう、それぞれの居場所～子どもの居場所づくり～】（9ページ）

審議会委員からの意見

子どもの居場所事業の実施について

- ・子どもの悩みが深刻になる前の早い気づきが重要で、その気づきの場の1つとして居場所があると考えています。このため、地域の誰もが参加しやすい様々な居場所づくりの充実が重要です。
- ・市が行っている居場所づくりのほかにも豊中市社会福祉協議会が行っているような地域の居場所づくりなど様々な居場所があるので、市全体としての連携を大切にしながら、施策を進めていただきたいと思います。

市の考え方

はぐくみセンターが中心となり、誰もが参加しやすい一般の子どもの居場所を充実するとともに、主に支援対象児童等を対象とする児童育成支援拠点等の設置を進め、子どもの状況に応じて役割分担を行いながら柔軟に連携できるよう包括的な相談支援体制を構築してまいります。

また、社会福祉協議会をはじめ、地域の既存の事業や資源の活用、各種ネットワークとの連携を重視して、一体的に施策を推進してまいります。

Ⅳ. 重点施策の実施状況

【重点施策2 みんなで寄り添う、健やかな育ち～一人ひとりの育ちにあわせた相談支援～】（13ページ）

審議会委員からの意見

各相談窓口について

- ・相談窓口の情報提供について。市民が相談できる窓口は充実していますが、様々な種類の窓口がありますので、各々の困りごとについて適切な窓口につながるできるよう、支援者をはじめ市民にわかりやすく情報提供を行う必要があると考えます。

市の考え方

はぐくみセンターでは、「こども総合相談窓口」を設置し、子どもとその家庭に関わる様々な相談を一元的に伺う体制を整え、相談者の相談内容に応じて専門相談窓口を案内しております。

また、市職員や関係機関による「こどもの相談支援ネットワーク会議」において、支援者同士の顔の見える関係づくりを行うとともに、相談窓口間の情報共有を図っているところです。

地域の支援者のみなさまに対しては、地域の会議などを通じて、相談窓口の一覧やはぐくみセンターのパンフレットなどを活用しながら、はぐくみセンターを中心とした子ども及び子育て家庭に関する相談支援体制について、より一層工夫をした周知を行ってまいります。

Ⅻ. 豊中市の子育て環境の現状

【7 外国人市民の状況】（100 ページ）

審議会委員からの意見

外国籍の子どもについて

・18 歳未満の外国籍の子どもの人数について、2021 年度までは横ばいでしたが、2022 年度、2023 年度にかけて増加しています。特定の年齢層が増加しているなどの特徴はありますか。またその要因は分析されていますか。増加している年齢層に対応する形で事業を実施していく必要があると考えます。

市の考え方

住民基本台帳に登録されている外国人の数は、令和 4 年（2022 年）10 月の新型コロナウイルス感染症による入国制限の緩和等により急増しており、18 歳未満の外国籍の子どもの数も同様に特定の年齢に限らず増加しています。市としての詳細な要因分析は行っておりませんが、国や府が外国人労働者の受入れを進めていることから、その家族も増加していることが子どもの数が増えている要因の一つと考えられます。

今後も、子ども母語教室や若者支援事業など、すでに行っている事業を継続しつつ、外国人市民からの子どもに関する相談等を通じて課題を把握し、ニーズに応じた支援や事業を検討してまいります。

審議会委員からの意見

報告書全体の記載方法について

・令和 5 年度に実施した取り組みへの振り返りの中で見えてきた課題や、それらの課題を令和 6 年度以降の施策にどのように反映するかなどの記載があった方が良いと考えます。また、評価指標からはどのように施策の進行状況を評価しているのでしょうか。

・市が実施している事業が市民にさらに伝わるよう、事業の紹介などが掲載されている市のホームページなどにリンクする二次元コードの掲載を増やした方が良いと考えます。

市の考え方

重点施策や施策の柱ごとの報告のなかで、課題や今後の方向性について記載をしている事業もありますが、より分かりやすい表現内容といたします。なお、計画全体の「評価指標」（56 ページ）については、現在策定中の第 3 期計画検討の際に活用するとともに、第 2 期計画最終年度の令和 6 年度の報告書において進行状況についての評価の総括をしてまいります。

また、二次元コードを掲載するなど市民の皆様により市がより伝わりやすくなるような掲載方法についても検討してまいります。